

九州では、豊かな自然や温暖な気候などを活かした農林水産業が展開されており、その産出額は全国の2割を占める食料供給基地となっている。また、農林水産業は、食料の安全保障を確保するという観点はもとより、経済振興や雇用創出の面でも、食品加工業や観光業など幅広い産業と結びついており、大変重要な役割を果たしている。

一方、日本の人口は、2050年代には1億人を下回ると推計されており、かつてない人口減少の波が押し寄せ、高齢化や担い手不足が進んでいる。コロナ禍を契機とした地方回帰機運の高まりもあることから、農林水産業を支える担い手の確保・育成を進めていかなければならない。

高齢化や担い手不足が進む中では、技術進歩が著しい先端技術を活用し、スマート農林水産業の取組を拡大することにより、生産の省力化、低コスト化、高品質な生産等を実現していくことも急務となっている。

人口減少に伴い、国内市場規模の減少も見込まれている。市場の拡大に向けては、九州は成長著しいアジア市場と近接しており、他の地域より地理的に優位性があることから、国が一昨年の12月に決定した「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」の施策を十二分に活用しつつ、農林水産物の輸出を飛躍的に増加させていくことが大事である。

今こそ、フードアイランドとして九州のプレゼンスを高める機会が到来していることから、地域経済を支える重要な基幹産業として、農林水産業の更なる成長産業化を実現していくため、次の取組を重点的に進めることを宣言する。

- 九州の農林水産業を支える多様な担い手の確保・育成
 - ・地方回帰機運の高まりを捉えたUIJターン就農や地元就農の促進
 - ・今後ますます活躍が期待される女性の経営参画や外国人等の就農促進
 - ・産地が主体となり担い手を確保・育成する体制の確立
 - ・法人化等の推進や異業種からの参入の促進による担い手の確保
- スマート農林水産業の推進、知的財産の保護・活用、安心・安全な生産体制の強化
 - ・AIやドローンを活用した作業の省力化・効率化
 - ・知的財産の保護・活用による高付加価値化・高収益化、国際競争力の強化
 - ・安心・安全な生産を支える家畜・植物防疫体制の強化
- 九州の強みを活かした輸出拡大
 - ・輸出相手国のニーズや規制に対応したマーケットインの産地づくり
 - ・オール九州の産地間連携による輸出量の確保
 - ・九州のブランド力とプレゼンス向上による海外需要の拡大

令和4年6月1日

九州地域戦略会議

共同議長

広瀬 勝貞

共同議長

倉富 純男